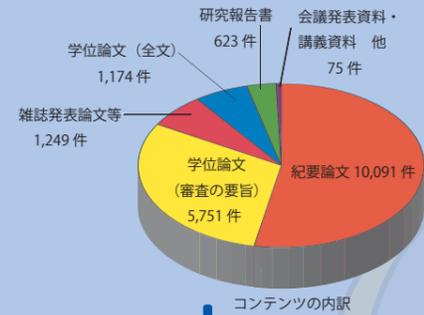


CONTENTS

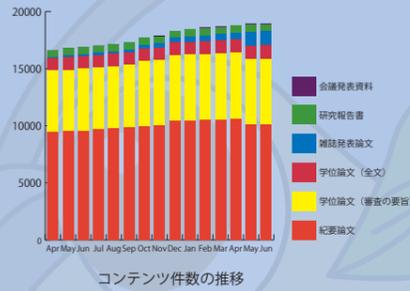
筑波大学機関リポジトリ基本データ

- 名前 つくばリポジトリ (Tulips-R)
- URL <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/dspace/>
- システム DSpace V1.3.1
- 公開日 2006.3.23
- 特徴
 - ・これまでの電子図書館の蓄積をもとに構築
 - ・中核的コンテンツは紀要論文と学位論文



2007年度はここが新しい!

- 学術雑誌掲載論文の登録・公開を開始
Web of Science に新たに掲載された本学教員執筆論文についてメールにて毎週提供を依頼した。
- 会議発表資料や講義資料等の登録・公開を開始
- 「つくば3Eフォーラム」の発表資料を登録・公開
筑波研究学園都市全体の研究成果発信のプラットフォームとしての第1歩を踏み出した。



記念すべきマイルストーン

- 2007.4.27 学術雑誌掲載論文 100件突破
- 2007.5.27 学術雑誌掲載論文 200件突破
- 2007.9. Web of Science の調査結果に基づく教員へのコンテンツ提供依頼開始
- 2007.10.24 学術雑誌掲載論文 300件突破
- 2007.12.11 紀要論文 1万件突破
- 2007.12.21 学術雑誌掲載論文 400件突破
- 2007.12.25 つくば3Eフォーラムの発表資料を公開
- 2008.2.8 学術雑誌論文 500件突破
- 2008.4.14 学術雑誌掲載論文 600件突破

つくば3Eフォーラムとは

筑波研究学園都市の連携共同研究開発事業である「つくばエコシティー構想」に基づき開催されるフォーラム。産業総合研究所、物質・材料研究機構、国立環境研究所等が参加。



PROMOTION

①知って

■コーヒーストップと勝手にコラボ



図書館コーヒーストップの開店に合わせ、勝手にコラボグッズを作成。オープンセレモニーに列席された学内執行部に配布しつくばリポジトリをすかさずアピール。学生にも好評で、今ではコーヒーストップから問合せが来るほど!

■図書寄贈のお礼状にもコンテンツ提供依頼



図書を寄贈して下さった先生へのお礼状には必ず、論文提供をお願いするチラシとつくばリポジトリグッズを同封。

■RSSも始めました

2008年4月からは、つくばリポジトリに新たに登録されたコンテンツをお知らせするRSS配信を開始。

②登録して

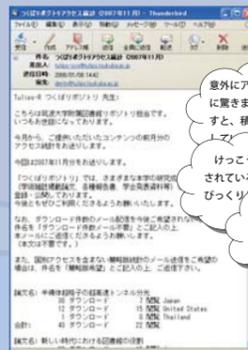


■博士号取得者全員プレゼント

博士号取得者にはもちろん、つくばリポジトリ登録用のCD-Rをプレゼント。CDジャケットの表には楽しいイラスト(全部で5種類)、裏には登録したくなる4コマ漫画が。CD本体にもイラスト入り。約60名から承諾を得ることができた。

■本学で博士号を取得した学外研究者の方にもお願い
本学で博士号を取得した学外研究者603名に、学位論文登録・公開を求める文書を送り出したところ、300名以上から承諾する旨の回答を得ることができ、現在登録に向けて作業中。

③実感!



■アクセス統計をメール配信

2008年1月から、学術雑誌論文を提供して下さった教員に、その論文の1ヶ月のアクセス統計をお知らせするメールサービスを開始。好意的なコメントとともに、約80件の自発的なコンテンツ提供の申し出が寄せられた。

意外にアクセスがあることに驚きました。この様子ですと、積極的に論文を登録して、けっこうダウンロードされているのでぜひびっくり
送付ありがとうございます。このような反応を引き続き見たいので

SYSTEM DEVELOPMENT

つくばリポジトリ支援システム(愛称募集中)のプロトタイプ開発



■ユーザ支援機能

Webブラウザベースのインターフェイスを通して、ユーザ(教員)が、メタデータの新規登録・修正や全文データの投稿、TRIOS(筑波大学研究者総覧システム)形式のメタデータのダウンロード、さらにユーザの個人サイトとのデータ変換を相互に行える機能。

■リポジトリ連携機能

ユーザから提供されたコンテンツのメタデータ及び全文データの図書館職員による確認・編集作業、及びつくばリポジトリの登録作業、さらに登録データの処理状況の管理が行える機能。

■外部システム連携機能

ユーザがTRIOSからダウンロードしたデータをつくばリポジトリに一括登録したり、自身がCSVまたはExcel形式で作成した業績データをTRIOSに一括登録したりすることができる機能。

つくばリポジトリ支援システムの画面イメージ(左から、教員用メニュー画面、管理者用メニュー画面、管理者用編集画面)



PLANS FOR 2008

つくばリポジトリ支援システムの構築と活用を軸に、さらなるコンテンツ充実を!



■職員にとって

コンテンツの登録・管理業務をシステム上で行うことが可能となる

限られた経費や人員の中での業務の遂行を実現する

■教員にとって

支援システム上で入力したコンテンツのデータをつくばリポジトリやTRIOS、個人のサイト等に一括登録できる

継続的なコンテンツ収集を実現する

■業績DBとの関係

TRIOSから支援システムにデータを一括ダウンロードしたり、支援システムのデータをTRIOSに一括登録したりできる

業績DBとの連携の可能性拡大を導出する

2008もFIGHT!

